

## 不適切なスタート動作に対する警告

### <背景>

IAAF Referee 2012 —2012年3月発行—

< IAAF Competition Rules に準ずるものとして定義される出版物 >

競技規則 第162条『スタート』中の不正スタートに関する記載事項

#### スタート行為の開始の解釈

IAAF技術委員会と国際スターターによる議論の後、以下の解釈が2012年3月にIAAFカウンスルにより公のものとなった。

足がスターティングブロックのフットプレートから離れない、または手が地面から離れない限り、競技者の動作はスタート行為の開始とはみなされない。そのような動作は、規則 162 条 5 項 (b) または (c) の違反とみなされる。

つまり、1回失格は、競技者が、グラウンドかフットプレートを離れた時に課せられるべきということになる。

もし、競技者が、腰を上げた後、グラウンドやフットプレートから手や足が離れることなく、腰を下げたとき、その行為は、不適切な行為として競技者は警告を受けることになり、不正スタートとはならない。

同様に、信号器が発射される前に、スターターが、競技者の腰の動きを目撃した場合、スタートを中止し、審判長が不適切な行為として競技者に警告する。

または、すでに1回警告を受けていたなら、失格とする。

### スタート動作の判定に関する日本陸連統一見解

2013年2月 全国競技運営責任者会議

日本陸連競技運営委員会は IAAF の規則説明を十分に理解した上で、スタート時の問題行為に対するスタートチーム（スタート審判長、スターター、リコーラー、出発係）の判定基準と対処を以下のように統一する事とした。

1. “On your marks”あるいは“Set”（競技会によっては「位置について」あるいは「用意」）の合図の後、スターターの指示に従わない不適切な行為（詳細は規則第 162 条 5. (a), (b), (c) に示される）があった場合は、すべての競技者のスタート動作を中止させて、当該競技者に警告を与える。
2. “Set”（あるいは「用意」）の合図の後、次の行為があった場合は、すべての競技者のスタート動作を中止させて、当該競技者に警告を与える。
  - a) 速やかに最終のスタート体勢に構えない
  - b) 最終のスタート体勢で静止しない
  - c) 一旦静止した後で動く（局所的な一瞬の動きを含む）
3. 信号器が発射される直前に、上記 2. c) の状況をスターターあるいはリコーラーが目撃し、スタート動作を中止させようとしたが、間に合わず、信号器が発射された後に再び撃ち直して呼び戻した場合は、スタートチームで状況を確認し、同意が得られれば不正スタートとはせず当該競技者に警告を与える。
4. 上記 1. 2. 3. の警告対応を除き、正当な理由も無く、信号器の発射を認識する前に、競技者が足をブロックから、あるいは手を地面から離してスタート動作を開始したと判定した時はすべて不正スタートとして扱う。

<文責：日本陸上競技連盟 競技運営委員長 吉儀 宏>

不正スタート、および不適切行為により警告が与えられる場合の対処行動

国際競技会、および海外から競技者を招待して実施される国内の競技会においては、[国際]規則を適用して行われる。即ち、スタート時における不適切行為が発生した場合、1回目は黄カードが、2回目は赤カードが、それぞれスタート審判長または権限を委譲された審判員から示される。これは単独種目のみならず、混成競技においても適用される。また、失格の対象はそのレースだけに止まらず、その競技会の他のエントリーしている種目全てに影響が及ぶものである。

ただし、本連盟が主催・共催する競技会では、国際規則に準じ、不正スタート1回で失格とするが、不適切行為を2回行って失格となった場合、そのレースのみの失格としているので注意が必要である。

また、それ以外の競技会では、主催者側の判断により、不正スタート1回で失格する競技会と、不正スタート2回目以降は誰でも失格する競技会が存在することになる。この場合、申し合わせ事項、競技注意事項等にその旨明記しておく必要がある。また、それぞれの競技会において、不適切行為、および不正スタートが発生した場合、出発係の対処行動は異なる。下記一覧表を参考にされたい。

スターターが立たせて警告を与える場合、当該競技者（複数の場合もある）とその理由をスターターに確認してから行う。また全員に対し警告がなされる場合は、一人あるいは複数の出発係が競技者の前方で、黄/黒カードを示さなければならない。なお、号砲前に手足が離れないが、腰や脚が微動したり、静止しないなどの不適切行為については、1回目は警告に留めるが、同じ競技者が2回目以降同様な動きを行った場合、それぞれ不正スタートを行ったものとする。（警告は1人1回までとする。）

		不正スタートがあった場合の対処行動	不適切行為により警告が与えられる場合の対処行動
1回失格が適用される競技会	単独種目：不正スタート1回で失格	① 不正スタート→失格 ・当該競技者に <b>赤/黒カード</b> を示し、失格を宣言。そのレーンナンバー標識上に、 <u>赤カード</u> を立てる。  (第162条7参照)	① 1回目の不適切行為→警告 ・当該競技者に <b>黄/黒カード</b> を示して警告。そのレーンナンバー標識上に <u>黄カード</u> を立てる。 ② 同じ競技者が2回目の不適切行為→不正スタートで失格 ・当該競技者に <b>赤/黒カード</b> を示し、失格を宣言。そのレーンナンバー標識上に <u>赤カード</u> を立てる。 (第162条5(a)(b)(c)参照)
	混成競技：不正スタート2回目誰でも失格	① 1回目の不正スタート→全員に警告 ・全員に対し <b>黄/黒カード</b> を示し、次に不正スタートをした競技者は誰であろうが失格となることを警告。当該競技者のレーンナンバー標識上に <u>黄カード</u> を立てる。	① 1回目の不適切行為→警告 ・当該競技者に <b>黄/黒カード</b> を示して警告。個々の競技者に対する最初の警告は、レーンナンバー標識上には何も示さない。 ② 同じ競技者が2回目の不適切行為→不正スタート ・全体で1回目の不正スタートであれば、当該競技者に <b>黄/黒カード</b> を示して不正スタートを告げ、レーンナンバー標識上に <u>黄カード</u> を立てる。全体に対して <b>黄/黒カード</b> を示す。 ・全体で2回目の不正スタートであれば、当該競技者に <b>赤/黒カード</b> を示して失格を宣言。レーンナンバー標識上に <u>赤カード</u> を立てる。
1回失格を適用しない競技会	単独種目、混成競技：不正スタート2回目誰でも失格	② 2回目以降の不正スタート→失格 ・当該競技者に <b>赤/黒カード</b> を示して失格を宣言。当該競技者のレーンナンバー標識上に <u>赤カード</u> を立てる。	

\*不正スタート以外の理由（写真判定装置が作動しなかった等）でスタートのやり直しがあった場合、緑カード（旗）で不正スタートではないことを競技者に告知する。

\*多くの競技者が同じような行為を行ったため、全体への注意で留める場合は、緑カードを示す。

\*場内がざわついたり、スピーカーの不具合等で、一度立たせてスタートをやり直す場合は、緑カードを示す。

不正スタート、不適切行為により警告が与えられる場合の対処行動の実際例

—1回で失格となる競技会—

(1) 不正スタートで失格となる場合

① Aが不正スタート → Aに対し赤/黒カードを示して失格を宣言。レーンナンバー標識に赤を立てる。

(2) 警告2回で失格となる場合

① Bが不適切行為 → Bに対し1回目は黄/黒カードを示して警告。レーンナンバー標識に黄を立てる。

② Bが不適切行為 → Bに対し2回目は赤/黒カードを示して失格を宣言。レーンナンバー標識に赤を立てる。

—2回目は誰でも失格となる競技会—

(3) 不正スタートのみで失格となる場合

① Cが不正スタート → 全員に対し黄/黒カードを示す。Cのレーンナンバー標識に黄を立てる。

② Dが不正スタート → Dに対し赤/黒カードを示して失格を宣言。Dのレーンナンバー標識に赤を立てる。

(4-1) 警告2回と不正スタートで失格となる場合

① Eが不適切行為 → Eに対し1回目は黄/黒カードを示して警告。Eのレーンナンバー標識は何もしない。

② Eが不適切行為 → Eに対し2回目は黄/黒カードを示して警告。Eのレーンナンバー標識に黄を立てる。

その後、全員に対し不正スタートが1回起こったと同じであることを、黄/黒カードを示し、警告。

③ Fが不正スタート → Fに対し赤/黒カードを示して失格を宣言。Fのレーンナンバー標識に赤を立てる。

(4-2) 不正スタートと警告2回で失格となる場合

① Gが不正スタート → 全員に対し黄/黒カードを示して警告。Gのレーンナンバー標識に黄を立てる。

② Hが不適切行為 → Hに対し1回目は黄/黒カードを示して警告。Hのレーンナンバー標識は何もしない。

③ Hが不適切行為 → Eに対し2回目は赤/黒カードを示して警告。Hのレーンナンバー標識に赤を立てる。

\* ①と②の順番は問わない。

(5) 警告2回が複数名出て失格となる場合

① Jが不適切行為 → Jに対し1回目は黄/黒カードを示して警告。レーンナンバー標識は何もしない。

② Jが不適切行為 → Jに対し2回目は黄/黒カードを示して警告。Jのレーンナンバー標識に黄を立てる。

その後、全員に対し不正スタートが1回起こったと同じであることを、黄/黒カードを示し、警告。

③ Kが不適切行為 → Kに対し1回目は黄/黒カードを示して警告。レーンナンバー標識は何もしない。

④ Kが不適切行為 → Kに対し2回目は赤/黒カードを示して失格を宣言。Kのレーンナンバー標識に赤を立てる。

\* ②と③の順番は問わない。

(6) 同一人が警告3回で失格となる場合

① Lが不適切行為 → Lに対し1回目は黄/黒カードを示して警告。レーンナンバー標識は何もしない。

② Lが不適切行為 → Lに対し2回目は黄/黒カードを示して警告。Lのレーンナンバー標識に黄を立てる。

その後、全員に対し不正スタートが1回起こったと同じであることを、黄/黒カードを示し、警告。

③ Lが不適切行為 → Lに対し3回目は赤/黒カードを示して失格を宣言。レーンナンバー標識に赤を立てる。

誰が不正出発を行ったか、また誰に警告が何回与えられたか、非常に複雑になる場合が予想される。スターターチームの中で担当を決め、各レースにおいて、不正スタート及び警告の発生状況を記録していくことが必要である。